



春夏秋冬

2025
vol.40
季刊発行

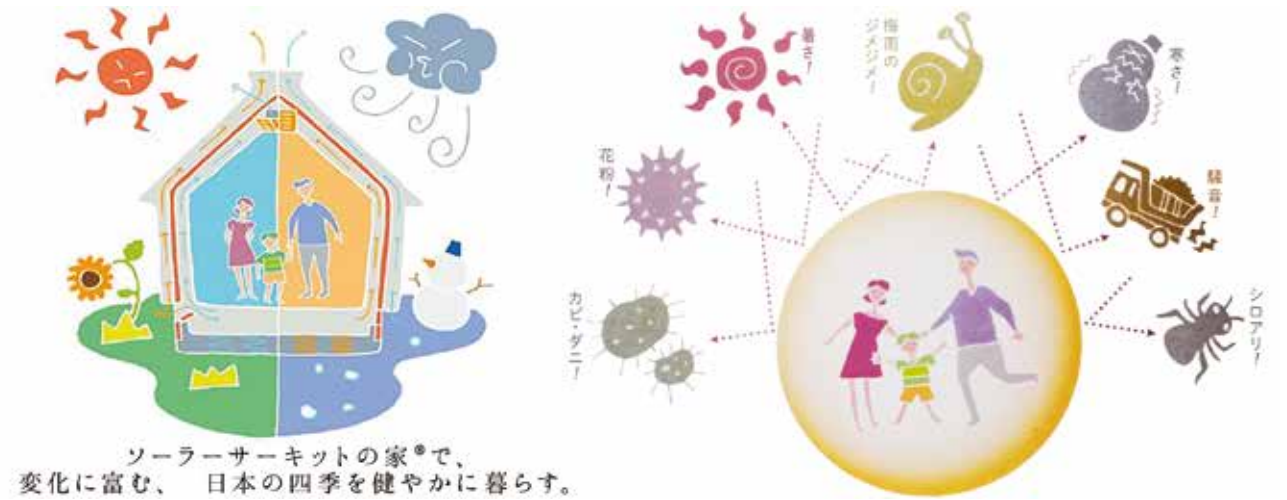


夏の暑さ対策

毎年夏は35度超えが当たり前になってきたけど、今年は6月から35度超えが始まり、建設の仲間たちも梅雨の雨対策ではなく熱中症対策に追われている。住まいの暑さ対策は太陽の熱をいかに家に入れないうちに、つきます。

一番の熱の進入路は窓ガラス。カーテンで遮断ではなく、熱が入る前に食い止めるか日除けや植物ネットも有効かもしれませんが、窓サッシの断熱性能を上げるのが一番かもしれません。また2階の部屋が夜になっても暑さが下がらないのは、昼間屋根に照り付けた太陽の熱が2階の天井裏にたまり、天井裏が40度越をしているので夜になっても暑い日が続くのです。対策としては天井裏に断熱材を敷き込むのが効果的かもしれません。

部屋には温度計と湿度計を設置して夏の暑さを乗り切りましょう。



ソーラーサーキットの家®で、
変化に富む、日本の四季を健やかに暮らす。

お知らせ

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

「夏の体感フェア」開催!!

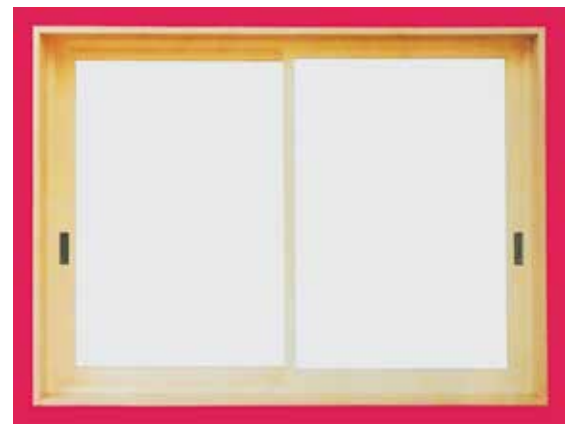
令和7年
8月2日(土)・3日(日)
—— 午前11時から午後4時 ——

夏の暑い中、エアコン1台で
快適な体感ハウスを体感して
ください。お待ちしております。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

eco 情報



国交省、経済相、環境省 3 省連携による補助制度
「住宅省エネ2025キャンペーン」
断熱窓導入の集中的支援の最終年です。
断熱効果がアップ、電気代節約、結露を抑える



ワンジャ サイカン 王家菜館

中田家の嫁、王さんが
教える中国の家庭料理。
ぜひ試してください。



file No.040 「薬膳粥」(薬膳かゆ)



● 材料

くこの実 少々
棗 8ヶ
大麦ごはんパック 1箱

● 作り方

1、大麦と棗を鍋で中火で20分煮て、
2、クコの実を加え10分煮て完成です。

- ・クコの実： 肝臓の働きを助け血の巡りをよくします。
- ・棗 ： 胃腸の働きをよくし体を丈夫にします。ビタミンCが豊富
- ・大麦 ： 大麦は血糖値の上昇を穏やかにしたり便通を調えます

夏の疲れた体を調えるために薬膳かゆをお勧めします。

編集後記

毎日、朝起きてから仕事場での会話は

暑い暑いオンパレード

夏の暑さがいつまで続くのやら

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3 info@e-hous.co.jp
☎048-561-6878 編集長：中田 新一



● web もご覧下さい
<http://www.e-hous.co.jp/>

OB report 訪問

小山建設で建てられた
住まいを訪問し、今後
より良い家づくりをする
ためのヒントを見つけ
たいと思います。



飲食店オープン

加須市で昨年から工事をしていた飲食店オープンしました。

床のタイル、壁板、天井、外壁とてもシンプルな造りですが厨房も使いやすく、店舗も家具やショーケースが引き立っています。



オープン初日は平日にもかかわらず、大勢のお客様で賑わっていました。

住宅は建物を造れば引き渡しですが、飲食店はエアコンや設備、電気のボリュームも大きく、お店を展開しながら改良も進めていかなくてはならないのでこれからがスタートかもしれません。まずは開店おめでとうございます！



地域の交流

「カクイチ工場見学」

カクイチというとガレージ、倉庫のお付き合いが主流でしたが今回、長野県の工場見学に行ってきました。

今までも、YKKアルミ工場や浴槽のメーカの工場、木材加工工場など行ってきました。

当日は現地集合で少し早めに到着したので、現地スタッフの方が5階社長室の向かいにある書庫を案内してくれました。創業160年の初代の書物ということでしたが何千冊もの書籍は佛教大学の図書館かと思うくらい日本書紀、古事記、仏教、神教、中国古典のあふれ、建築のノウハウ本などではなく精神修行の書籍ばかりでした。



午後、みんなが集まったところで、企業理念の話から工場見学と続く中で「岩深水」の販売や天然素材事業、太陽光事業、ホテル事業など多角的に事業展開している姿も最初に観た書庫で、ほとんどが歴史、宗教の本を観ていたせいか、人が生きるといふ所で全部つながっているのだと思いました。主力のガレージ倉庫の工場見学もとても素晴らしく勉強になりましたが研修の始まる前に観た書籍の風景にすべて呑み込まれてしまい帰ってからお客様の所でも製品の話ではなく創業者の書籍の話をしてしまいました。

匠の知恵

「耐震補強」

家を作る時、木材の継ぎ手は木材の切り込みにより組み立てられていましたが、耐震研究の発展により家が地震により上下に揺れた時耐震補強のために金属金具による補強が義務付けられました。

